

2022年10月14日

鹿児島血液センターから鹿児島県立大島病院に出庫される

血液製剤の研究利用について

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院輸血・細胞治療部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた血液製剤の廃棄率をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

離島の中核病院における悪天候時等の血液製剤利用に対して、複数の医療機関がブラッドローテーションにて支援を行う運用の研究

【研究の目的】

離島における輸血医療において、安全・安心な輸血用血液製剤の準備と期限切れ廃棄の少ない効率的な製剤運用を検討します。

【研究の方法】

鹿児島血液センターから鹿児島県立大島病院に恒温血液搬送装置（以下、ATR）を用いて赤血球製剤を在庫として設置し、持続的温度管理を行い、品質を担保します。使用されなかった血液製剤は鹿児島血液センターに返品され、通常の血液製剤と同様に鹿児島大学病院に出庫され使用されます。

上記の運用を行う事で、ATRで運用された血液製剤が使用されずに廃棄に至らないか、また鹿児島県立大島病院での血液製剤の廃棄率が減少するかを検証します。

【研究期間】

2022年10月14日 ～ 2023年3月31日

【対象】

2022年10月14日から2023年3月31日までに、鹿児島血液センターから鹿児島県立大島病院に出庫される血液製剤

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

赤血球製剤が使用されたか、使用されずに廃棄になったかを調査します。利用する情報の管理について責任を有する者は鹿児島大学病院 輸血・細胞治療部の古川良尚です。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学病院	古川良尚
鹿児島県立大島病院	大木浩
鹿児島市立病院	時村洋
鹿児島医療センター	大塚真紀
今村総合病院	宮園卓宜

【当院の研究責任者】

鹿児島大学病院 輸血細胞治療部 古川良尚

【本研究全体の研究代表者】

鹿児島大学病院 輸血細胞治療部 古川良尚

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報はありません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、公的研究費（厚生労働省令和4年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業）で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

鹿児島大学病院輸血・細胞治療部

役職 講師：部長 氏名 古川 良尚

電話 099-275-5635 FAX 099-275-5641